

ANNUAL REPORT 2022-2023

Beyond the Border,
Create the Future.



CROSS FIELDS

Message 代表メッセージ

ビジョン実現に向けた 各事業の推進と発展を続けます



共同創業者・代表理事

小沼 大地

2022年度はビジョン・ミッションの実現に向け、各事業で新たな動きが着実に積み上げられた年でした。様々な方々のご尽力とご協力によって、蒔いた種が芽を出し、いよいよ果実が実り始めているという実感があります。

新型コロナウイルスをめぐる状況も落ち着き、現場訪問型のプログラムや海外渡航の機会も一気に増え、事業の現場には活気が戻っています。2023年度はこうした追い風を受け、ビジョン実現に向けてチームで確実に歩いていく1年にできればと思っています。引き続き、応援のほどよろしく申し上げます。



CROSS FIELDS

Our Vision 目指す世界

＞ 社会課題が解決され続ける世界

Our Mission 果たすべき使命

＞ 社会課題を自分事化する人を増やす

＞ 課題の現場に資源をおくり、
ともに解決策をつくる

CULTIVATE領域

社会課題を自分事化する人を増やし
社会の土壌をつくる

「共感VR」など、社会課題に触れる機会を
幅広い層に届け、社会課題を自分事として
捉える社会の土壌を耕す事業

03 共感VRプログラム

より広く拡大／拡散
Scale Up/Out

CO-CREATE領域

課題の現場に資源をおくり
解決策をともにつくる

課題の現場に適切なリソースを提供し、
社会課題の解決に挑むステークホルダーと
ともに解決策を生み出す事業

04 CO-CREATE事業

社会課題を自分事化する
人の数を増やしていく
人へのアプローチ

私たちの事業領域とプログラム

課題の現場において
様々なステイクホルダーとともに
解決策を生み出す
課題へのアプローチ

02 社会課題体感フィールドスタディ
社会課題解決ワークショップ

01 留職プログラム

社会の未来を切り拓くリーダーを育む

「留職」「フィールドスタディ」など、
課題の現場での圧倒的な原体験を届け、
社会課題の解決を牽引するリーダーを育む事業

EMPOWER領域

より深く突き詰める
Scale Deep

Program Reports

事業報告

クロスフィールズは

「社会課題が解決され続ける世界」をビジョンに掲げ、
様々な事業を展開しています。

2011年の創業時より取り組んでいる「働く人」と
「社会課題の現場」をつなぐ越境プログラムに加えて、
社会課題解決に取り組むソーシャルセクターとの協働や
高校生向けの教育プログラムなど、異なるフィールドを“クロス”し、
新たな価値を社会に生み出す挑戦が始まっています。

続くページからは各事業の概要と

2022年度の活動実績をご紹介します。

EMPOWER領域

01

留職プログラム

Corporate Volunteering Program

02

社会課題体感フィールドスタディ & 社会課題解決ワークショップ

Social Issue Understanding Field Study & Social Business Creating Workshop

CULTIVATE領域

03

共感VRプログラム

Empathy VR Program

CO-CREATE領域

04

CO-CREATE事業

Co-Create Program

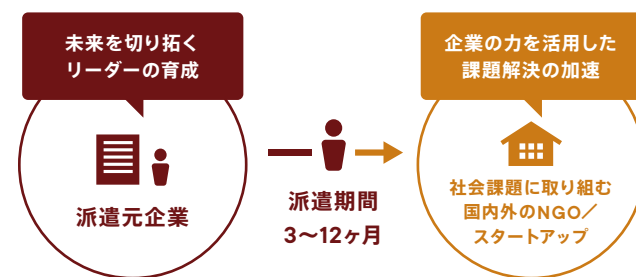
新規イニシアティブ事業

- ＞ グローバルキャリア探究キャンパス「CROSS BRIDGE」
- ＞ ボード越境イニシアティブ
- ＞ アラムナイ事業



留職プログラム

企業の社員を国内外のNPO/NGOやソーシャルベンチャーに数か月～1年にわたって派遣し、本業のスキルを活かして社会課題の解決に取り組むプログラム。



2022年度までの活動実績(累計)

👤 派遣人数	259人
🏢 企業数	48社
🏠 パートナー団体数	151団体



事例紹介

新興国派遣

企業

電源開発

パートナー

My Dream Home



コロナ後に再開した新興国派遣・第一弾として電源開発の社員がカンボジアで活動。派遣先は低価格かつ環境に優しい住宅用資材の製造販売を通じて、低所得者層に安価な住宅を提供するスタートアップです。工場設備の改善などに取り組みました。 [WEB](#)

国内派遣

企業

損保ジャパン

パートナー

SALASUSU



損保ジャパン社員がNPO法人SALASUSUに留職しました。日本を拠点に活動しつつ、営業支援やファンドレイジング業務等を担当。カンボジア農村部でライフスキル提供を通じた貧困課題の解決に挑むSALASUSUの事業加速に貢献しました。

[WEB](#)

After Story 留職後のご活躍

企業

トライアンフ

パートナー

V-shesh

2017年にインドへ留職したトライアンフ(人材/採用コンサルティング企業)の社員は、それから4年後の2021年に同社で執行役員に就任しました。「留職を経て失敗が怖くなくなった」と、留職経験とその後のキャリアへのインパクトを振り返りました。 [WEB](#)



Member's voice



留職事業リーダー

千足 容資

2022年秋、カンボジアのプノンペンに出張しました。目的は2年ぶりとなった留職の新興国派遣です。むんとした熱気、大声で話す人々の声と自動車の音、日本では馴染みのない匂い……「ああ戻ってきた」と思いました。一方の国内派遣では留職者一人ひとりが派遣先に貢献し、インパクトが拡大しています。留職の伴走のあり方もアップデートするなど、今後も既存の枠にとらわれず事業を進めていきます。

社会課題体感フィールドスタディ 社会課題解決ワークショップ



社会課題体感フィールドスタディ **FS**

短期集中型の役職者向け越境プログラムです。国内外の社会課題の現場や現地リーダーの志から刺激を受け、社会に対する感性とぶれない軸を育てていきます。

社会課題解決ワークショップ **WS**

2-3ヶ月にわたって企業の社員がチームを組み、社会課題解決に取り組むリーダーと事業アイデア創出を行うアクションラーニング型のプログラムです。

2022年度までの活動実績 (累計)

	社会課題体感 フィールドスタディ	社会課題解決 ワークショップ
🚩 実施件数	97件	50件
👤 参加人数	1,932人	753人
🏢 実施企業数	51社	18社



事例紹介

FS 現地 Social Innovation Mission in ケニア



大企業やスタートアップの役職者が新興国の社会課題を肌で感じ、これからのビジネスの姿を探索するプログラム・SIM(Social Innovation Mission)。コロナ禍で休止中でしたが、3年ぶりにケニアで再開しました。(本件は経済産業省「社会課題解決型国際共同開発事業」の一環で実施しました) [WEB](#)

FS オンライン オムロン / 日本・インドネシア



オムロンでは全世界の拠点を対象とした次期経営層向けリーダー研修でオンライン型フィールドスタディを実施。米国・ヨーロッパ・アジアなど各国から16名が参加し、日本の被災地やインドネシアで社会課題解決に取り組むリーダーらと対話を行いました。(全編英語で実施) [WEB](#)

FS 現地 住友商事 / 西栗倉村



住友商事の次世代リーダー層・21名が岡山県・西栗倉村でのプログラムに参加。林業などを中心とした地域再生に様々なアプローチで取り組むリーダーたちとの対話から刺激を受け、自身の志を見つけていきました。

[WEB](#)

After Story

WS 企業 日立システムズ 留職先 国内 / 宮城・女川町

日立システムズは社員が宮城・女川町に移住し、地域課題の解決をめざすプロジェクトを始動。プロジェクトのリーダーは社会課題解決ワークショップの参加者です。きっかけとなったワークショップでの経験を聞きました。



[WEB](#)

Member's voice



ユニット統括リーダー

田熊 彩子

コロナ禍を経て復活したSocial Innovation Mission(SIM)をはじめ、新たな挑戦や試行錯誤をするなかで、事業を通じてビジョンを実現する道筋が見えてくる...そんな1年でした。組織の変化を牽引する「個」を育むこと、そして個の変化を「組織」へと繋げ、社会の未来を切り拓く組織づくりを加速し、事業の本質的な進化を実現していきます。



共感VRプログラム

VR/360度映像を通じて一度に多くの方が、国内外の社会課題の現場を疑似体験し、課題の当事者への共感や課題理解を育むプログラム



2022年度までの活動実績(累計)

企業	🏢 導入企業数	4社
	👤 参加人数	4,000人以上
学校	🏫 導入学校数	5校
	👤 参加生徒数	200人



事例紹介

三井物産の社員4,000名以上が受講するe-ラーニングプログラムを開発



受講者は同社がグアテマラから調達する原料生産地の様子を、360度映像で疑似体験。サプライチェーン上に内在する社会課題への理解と、サステナビリティ実現に向けた自部署での取り組みについて同僚との議論を深めました。受講者からは「臨場感があり、サステナビリティが何かを考える良いきっかけになった」等の声が聞こえました。

WEB

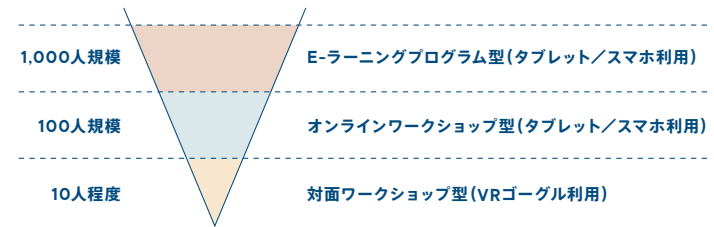
全国の学校と共感VRの活用事例を創出、STEAMライブラリーで無償公開



これまでに経済産業省の委託事業の一環で、10のデジタル教材を開発してきましたが、今年度は全国の公立中学校・高校とこれまで制作した教材の活用事例の創出に取り組み、探究学習等への有効性を確認しました。 WEB

プログラムメニューの拡がり

「社会課題を自分事化する人を増やし、社会の土壌をつくる」をミッションに以下のメニューを通じて、2023年度中に累計10,000人へ「原体験」を届けることを目指します。



Member's voice



プロジェクトマネージャー

渡辺 真恵

3年目を迎えた共感VR事業は、「より多くの人へ社会課題を自分事化するきっかけを届ける」ことを目指し、様々な施策に取り組みました。そのなかで学校での活用事例の創出や企業向けのサステナビリティ研修プログラムを開発し、参加者の声から改めて共感VRの価値を実感しました。これまでの積み重ねが花開き、大きく前進した1年だったと感じています。これからもより多くの人へ届けるため、事業を加速していきます！



CO-CREATE事業

国内外の社会課題の現場や課題解決の担い手に対して適切なリソースを提供し、社会課題解決に共創的に取り組む事業

Member's voice



新規事業開発リーダー

西川 紗祐未

孤独・孤立の課題解決に取り組む！と旗を掲げ、事業探索の1歩目を踏み出してから約1年。国やセクターを越え、様々な立場から孤独・孤立対策に取り組む方々との対話を重ねるなかで、クロスフィールズとして目指す方向性が見えてきました。Co-Createの人員体制もパワーアップしたので、今後は「つながり」や「居場所」をテーマに関係性を築いたパートナーのみなさんと具体的な探索をさらに進めていきます。



事例紹介

孤独・孤立領域での事業探索を本格化

クロスフィールズが新規に取り組みを始めたCo-Create領域では、近年課題が深刻化している「孤独・孤立領域」での事業の可能性を模索しています。今年度は内閣官房が主導する孤独・孤立対策に資するNPO等による活動実態把握のための調査業務などに取り組みました。また国際交流基金の助成事業として、NPO法人新公益連盟と協働で「コレクティブインパクトによる孤独・孤立の課題解決」をテーマに、日本・アジア・米国における本テーマの現状や事例の調査プロジェクトを実施。第一弾として2023年2月に新公益連盟・白井代表や全国こども食堂支援センターむすびえ・湯浅代表・Code for Japan代表らとともに米・サンフランシスコを訪問し、米国の事例からの学びを深めました。






米・サンフランシスコの孤独・孤立課題に取り組む団体を訪問する様子

アフリカ留職プログラムを実施

経済産業省「社会課題解決型国際共同開発事業」の一環で、アフリカ・ウガンダでの留職プログラムを実施しました。本取り組みの目的は、スタートアップ社員が自社の持つリソースで現地の課題解決に貢献するとともに、新興国での事業探索を行うことです。3社より参加した5名の参加者は、3ヶ月の活動期間でヘルスケアやインフラ分野での現地課題の解決に取り組みつつ、アフリカでの新規事業の可能性も探索しました。 **WEB**

留職者と派遣先の詳細

留職者	派遣先@ウガンダ
 エフバイタル(株) 執行役員/R&D担当(20代男性) R&D部門リサーチャー(20代女性) R&D部門リサーチャー(20代男性)	テクノロジーを活用し、医療資源不足が深刻な農村部における医療アクセス向上に取り組むスタートアップ
 (株)ナレッジコミュニケーション 役員/データエンジニア(40代男性)	スマホアプリで使用可能な妊産婦と胎児の心拍数モニタリング装置の開発・提供を通じて安価・安全な周産期ケアを提供するスタートアップ
 (株)村田製作所 新規事業開発(30代男性)	ID認証を用いて井戸管理や料金回収の自動化を行い、農村部での安全な水の安定供給に取り組むスタートアップ

「社会課題が解決され続ける世界」という団体ビジョン実現に向け、今年度も複数の新たな挑戦を続けています。

1 グローバルキャリア探究キャンパス“CROSS BRIDGE”

経済産業省の委託事業の一環で、団体初となる高校生向けプログラムを実施しました。これは高校生が国内外の社会課題を探究し、グローバルな視座で将来の進路を考えるものです。東北から沖縄まで、全国各地から27名の高校生が参加。社会課題の現場の体感やNPOのリーダーとの対話を通じて、グローバルな社会課題への学びを深めると同時に進路の可能性を広げていきました。 **WEB**



オンラインでの授業や現地訪問を通じて学びを深める参加者の様子



Member's voice



プロジェクトマネージャー
花井 一太郎

プログラムを通じて、高校生が社会課題を身近なものとして捉え、自身の思考や行動を変えていく力強い姿が見られました。社会を切り拓く未来のリーダーを育むため、今後も新たな挑戦を続けていきたいです。



2 ボード越境イニシアティブ

役員レベルの人材交流をビジネス／ソーシャルセクター間で加速させる「ボード越境イニシアティブ」を開始しました。これはセクターを超えた協業を促すことで、社会課題解決の加速を目指す取り組みです。第一弾として「ボードマッチイベント」を開催。役員受け入れを希望するNPO/ソーシャルベンチャーと企業役員が集い、ビジネスセクターからNPOに経営参画する動きが複数生まれる場となりました。 **WEB**



ボードマッチイベントの様子

Member's voice プロジェクトマネージャー **山崎 怜美**

マッチングイベントでは様々な人が出会うことで事業や取り組みがより広がっていく可能性を改めて感じました。今後も垣根を越えて人が出会い、協働できる機会を仕掛けていきたいです。



3 アラムナイ事業

クロスフィールズのプログラム参加を通じて「社会に何かしたい」という思いを持った卒業生を後押しする「アラムナイ事業」をさらに加速していきます。「アラムナイが次々に連携し、社会課題が解決され続けている世界」を事業ビジョンに掲げ、施策を実施していきます。22年度はメールマガジン“Sailors”の配信を開始。今後はアラムナイ向けのイベントや支援プログラムを通じて事業ビジョン実現を目指します。 **WEB**



過去に実施したイベントの様子

Member's voice 広報担当 **松本 初穂子**

留職やフィールドスタディ等の参加者が、プログラムを通じて芽生えた志や社会課題への関心を行動に変えるサポートをしたい...そんな気持ちで今後もアラムナイ事業をさらにパワーアップしていきます。



Working Environment

組織の取り組み

クロスフィールズは社会インパクトを持続的に創出するため、一人ひとりのメンバーが働きやすい環境づくりに力を入れています。

組織づくりで大切にしていること

Transparency

透明性

透明性の高い
オープンな
コミュニケーション

Fairness

公平性

多様な働き方において
フェアな仕組みの
設計と運用

Understanding

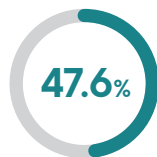
納得性

質問責任と説明責任を
大切にした、納得性の
ある環境づくり

組織づくりの取り組み

副業制度

副業制度を活用し、一人ひとりが多彩なフィールドで自己実現する後押しをしています。



副業しているメンバーの比率

育児との両立環境の整備

メンバーには育児世代が多く、育休の取得者が増えています。メンバーそれぞれのライフスタイルを尊重し、働きやすい組織づくりを目指します。



1年間の育休取得率



男性 33%
女性 67%
育休取得者の男女比率

Member's voice



クロスフィールズではフレックス制度とリモートワークを導入しています。メンバーからは「プライベートの時間がさらに充実した」「みんなが働き方を調整できるフェアな環境で働きやすい」などの声が届いています。 [WEB](#)

Topics

新卒第一号が加入しました！

2023年4月に、創業より初となる新卒メンバーが職員として加入しました。これからも多様なバックグラウンドを持つメンバーを迎え、一人ひとりが活躍できる組織へと成長を続けます。



合宿を実施しました

次年度に向けたチームアップを目的に、2日間にわたる合宿を実施。事業横断的な対話を実施したり、神奈川・猿島でチームビルディングを行ったりしました。メンバーは非日常の空間でリラックスしながら関係を深めました。新年度に向けてエネルギーをチャージしたクロスフィールズ一同、さらなる社会インパクト創出を目指します。



メディア掲載

WEB WEBマークの付いた記事はこちらから



合計**19**回掲載

新聞、雑誌、ラジオ 日経新聞、ダイヤモンド・オンライン、Worksなど



リクルートワークス研究所
『Works』
172号に掲載



教育リーダー向けメディア
『週刊教育資料』
11月21日発売号に掲載



AERA.
11月14日発売号に掲載

ウェブ

- 2022年6月3日 ダイヤモンド・オンライン 「留職」で越境学習を広めたNPOは、なぜ「ビジョンの刷新」という劇薬に手を出したのか? **WEB**
- 2022年06月10日 ダイヤモンド・オンライン 「共感VR」「留職」……新事業を打ち出し続けるNPOが明かす「人と文化」のつくり方 **WEB**
- 2022年06月20日 News Picks BCGで学んだ、プロフェッショナルの「思考法」 **WEB**
- 2022年09月23日 テレ東BIZ ボーダーを超える 再注目の越境人材教育 **WEB**
- 2023年01月25日 Well-living Lab 新興国のシビアな現場に日本のビジネスパーソンを派遣 **WEB**

講演・イベント

合計**30**回登壇

「サステナビリティ経営の未来」に登壇 2022年12月9日



日経新聞社主催イベント「サステナビリティ経営の未来～SXを支える企業価値創造と人的資本経営～」に、代表・小沼が登壇。「SDGsウォッシュに陥らないSXへの踏み出し方」をテーマに講演しました。

ほか、経済同友会に登壇など

10周年記念イベントを開催 2022年8月27日



2021年に迎えた創業10周年を記念し、3年ぶりとなる対面イベントを開催しました。当日は過去のプログラム参加者、ソーシャルセクターや企業のパートナーなど、総勢50名を超える方々にご参加いただきました。

主催セミナー

合計**5**件のオンラインセミナーを実施



パーパス・ドリブンの人と組織をつくるには？
2022年6月29日



いま改めて新興国に「越境」する価値とは？
2022年7月6日



いま求められる最先端の教育の姿とは？
2022年11月24日

Message from Cross Fields Members

クロスフィールズメンバーからの「来年度に向けた一言」をご紹介します。

発展と調和!



プロジェクトマネージャー
岡崎 明子

成す



プロジェクトマネージャー(業務委託)
垣内 優衣

自分らしく
ありのまま



プロジェクトマネージャー
久保 彬子

「結」いで
「織」ります



シニアプロジェクトマネージャー(業務委託)
久米澤 咲季

前を向いて歩みを
続けます!



代表
小沼 大地

ブレずに、ジャンプ!



プロジェクトマネージャー
鈴木 園子

きちんときれいに



経営管理マネージャー(業務委託)
高橋 健

切り拓く



ユニット統括リーダー
田熊 彩子

肩の力を抜いて
踊るように



プロジェクトマネージャー
田中 亜季実

異次元



留職事業リーダー
千足 容資

笑って生きよう



プロジェクトマネージャー
中村 翠

おいしいごはんが
食べられますように



事務局
長嶋 葉子

種まき



Co-Creat 事業マネージャー
西川 紗祐未

かろやかに
しなやかに



ディレクター
西川 理菜

さあ、行こう!



プロジェクトマネージャー
花井 一太郎

自然体で
自分らしく



プロジェクトマネージャー
濱田 貴広

のびしろ



企業パートナーシップ統括リーダー
原科 佑哉

土を耕して創る



ディレクター
原田 悠子

育む



共感VR事業リーダー
藤原 未怜

半歩先へ



プロジェクトマネージャー
湊上 拓美

進化!



事業統括マネージャー
法幸 勇一

のびのびと



広報
松本 初穂子

白黒つけない
バランス大切



プロジェクトマネージャー
山崎 怜美

¡Disfrutaré de mi
nuevo viaje!



プロジェクトマネージャー(業務委託)
米谷 浩佑

ハングリー精神



プロジェクトマネージャー
渡辺 真恵

2022年度収支報告 (2022.6-2023.5)

(単位:円)

科目		2022年度実績
収入	事業収入	229,984,170
	受取会費	1,222,500
	受取寄附金	2,600,000
	受取助成金	20,288,168
	その他収入	1,525,398
当期収入合計		255,620,236
支出	事業費	237,691,156
	管理費	4,181,611
	法人税等	70,000
当期支出合計		241,942,767
収支	当期純損益	13,677,469
前期繰越正味財産		95,657,156
次期繰越正味財産		109,334,625

注1) 事業費は、主に人件費、支払報酬料、旅費交通費など 注2) 管理費は、主に支払報酬料、地代家賃、支払手数料など

編集後記

最後までご覧いただき、ありがとうございました。
毎年、年次報告書の制作を通じて
「活動の幅が着実に広がっていているな」と実感しています。
これはひとえに日々ご一緒している
パートナーのみなさまのおかげです。
今年も無事に年次報告書を作成できたことに感謝しつつ、
来年度はどんな旅路を歩み、どのようなご報告を
皆様にお届けできるか、今から楽しみです。

クロスフィールズ広報チーム一同

**Beyond the Border,
Create the Future.**



特定非営利活動法人クロスフィールズ

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-8-3 町原ビル4F

TEL: 03-6417-4804 E-MAIL: info@crossfields.jp



クロスフィールズ

検索

<https://crossfields.jp>



年次報告書に掲載の記事や詳細は
こちらからWEBでご覧いただけます。

